

これから不妊検査・治療を
始められる皆様へ



アート駅前I.V.Fセンタークリニック産婦人科

Assisted Reproductive Technology

感染症採血検査



奥様の受診日に、ご主人の受付をして頂き、感染症結果を聞く



奥様が精液検査の容器をもらう



精液検査の予約

*ご主人の保険証が必要です

奥様受診日に、精液検査の結果を聞く

*全ての検査が終わりましたら、治療方針が決まります



ご主人の感染症検査

当院では、不妊治療を行う前に、旦那様も奥様同様、感染症チェックを受けることをお勧めしています。

原則として、健康診断や人間ドックと同様に、保険適応外ですので、自費検査となります。

通常の性交や、人工授精のように、直接体内に精子を注入する治療法では、特に、男性の感染症を、女性にうつしてしまう危険性があります。

不妊治療の開始時点で、調べるのが理想的ですが、精液検査までには、受けるようにお願いします。

人工授精にステップアップする場合には、再度、採血をお願いすることがあります。

奥様と生まれてくるお子様を感染から守るためにも、必ず受けて下さい。ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

□感染症の検査……………(自費¥8,000+消費税)

B型肝炎ウイルスS抗原定性	(¥1,500)	*4つのセット料金です
C型肝炎ウイルス抗体RIA	(¥3,500)	別途消費税がかかります
梅毒TPHA定性	(¥1,500)	
HIV(エイズ)ウイルス	(¥4,500)	

ご主人の 採血検査

本日をおすすめします

採血検査から 14日以降

受付へ
「検査結果を聞きたい」
と伝えてください

採血検査の結果

検査結果で陰性を確認
したら
採精容器をお渡し
します

精液検査

アットリンクで予約を
してください

* 看護師へ「精液検査の容器をください」と伝える

精液検査

不妊症の中で男性因子は50%を占めるもっとも頻度の高い原因です。
旦那様の精液検査は必ず行いましょう。

旦那様の「アットリンク」アプリで予約をお願いします

予約時間は午前 9 時30分または午後 3 時30分のみです

※予約時間経過後は追加料金をいただく場合があります。

時間厳守のご提出をお願いします。

禁欲期間は2～3日間をおいて下さい。

検査当日は・・・

シャワーを浴びるか性器を清潔にして下さい。

☑容器内にマスターベーションにて直接採取して下さい。

注意！コンドームは精子を殺す薬が入っていますので使用しないで下さい。

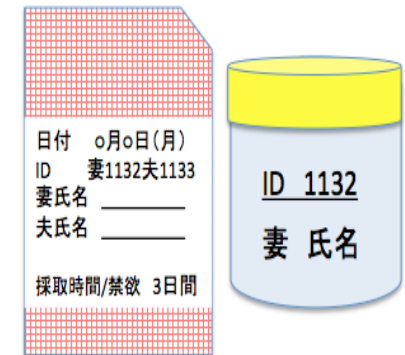
☑容器を入れる紙袋に本日の採取時間、前回の射精を忘れずに書いてお持ち下さい。

☑精液は必ず当日採取し、4時間以内にお持ち下さい。

☑病院に来たらすぐに受付に提出し、お会計して下さい。(5～10分で終わります)

☑精液検査は保険診療です。料金は1,340円になります。

☑検査当日は、精子容器、旦那様のマイナ保険証と診察券をお持ち下さい。



精子やホルモン、亜鉛などの結果が悪い場合、妊娠率が低下することがあります
この場合内服によって改善することがあります

内服薬には4種類あります

* 内服の必要性がある方に処方します



①カルナクリン

血管を拡張し、血流を改善。精子を活性化します

※高血圧のお薬を飲んでいる方は内服を避けてください

②メチコバール

ビタミンBが細胞の再生を活性化します

③補中益気湯

体力増強作用のある漢方

④ノベルジン(亜鉛製剤)

亜鉛不足を改善します

妊娠のために体調・栄養管理は男性にとっても大切です

実は、男性の体はデリケート。

男性のコンディションは、生活習慣やストレスなどによって低下します。

健康な体づくりを意識しましょう。

食事にサプリメントをプラスして、ビタミンやミネラルなど、活性酸素の働きを抑える抗酸化作用を持つ栄養素を積極的に摂りましょう。

男性の妊活を支えるサプリメント

抗酸化作用を持つ「ビタミンE」や細胞の代謝をサポートする「亜鉛」は大切な栄養素です。

ストレスと戦う男性におすすめです。

※「ビタミンE」は体内で作れないため、サプリメントの摂取が必要です。

■温度：男性は温めすぎに注意

男性は精巣の温度が上がりすぎると、精子を造る機能が低下します。たとえば、コタツ、サウナ、長風呂など長時間にわたって下半身を高温環境にさらすことは、避けた方がよいでしょう。

■入浴：入浴は毎日心がけましょう

入浴は身体を清潔に保ち、そのうえストレスを解消させたり血液の循環を改善しますから、男女ともおすすめてできます。

入浴のポイントはぬるめのお湯にゆっくりとつかることです。熱いお湯は心臓に負担をかけるばかりでなく、男性の場合は精巣を温めすぎてしまうことになるので逆効果になります。



■嗜好品：タバコはできるだけ禁煙、お酒は控えめに

タバコに含まれるニコチンは血管を収縮されて血行障害を引き起こします。

とくに女性では、妊娠する能力を低下させ、妊娠後は流産や早産、さらに胎児発育障害との関係も指摘されています。

また、男性では精子の異常や性交障害（勃起不全や射精障害）の原因になるともいわれています。



タバコは妊娠のみならず、出産までの多くの過程を阻害します。

“百害あって一利なし”ともいわれますから、健康のためにもぜひ禁煙するようにしましょう。

また、アルコールの飲み過ぎは性中枢を抑制し、性交障害を起こさせますので注意しましょう。

■ストレス：趣味や娯楽で積極的にストレス解消を！



精神的な悩みが原因になって排卵が起きなくなったり、男性がインポテンスになることがしばしばあります。

ストレスは多かれ少なかれ、誰でも抱えているもの。楽しい会話や趣味でストレスをためないようにしましょう。

また、寝不足はイライラの原因になります。十分な睡眠時間をとるように心がけましょう。

■性交：禁欲はほどほどにし、夫婦のスキンシップを！

妊娠できる体作りの第1歩がご夫婦間のスキンシップだと考えております。精子は性交後から3～5日間は、女性の体内で生きており、卵子を待っていると言われます。卵子の寿命は24時間です。週に1～2回の性交渉を続け、精子にスタンバイしててもらう状況をつくりましょう。

完全にセックスレス、あるいは性交時に痛みや苦痛を伴う方はご相談ください。

